



ト業
メン事
リ査
サで

医療費削減効果を調査へ

先行する米健食団体と連携

健康食品関連団体のAIFN(旧名NNFA)ジャパン、事務局・東京都新宿区)は、サブプリメントによる医療費削減効果の調査に着手する。特定栄養素を対象とした米国の前例を参考に複数年計画で行い、サブプリメントの普及促進や将来的な法規制の緩和に結び付けたい考えだ。

調査スケジュールは、医療経済分野に詳しい京都大学経済研究所の古川雅一氏の協力を仰ぐ。AIFNでは事業にあたって、削減効果を測る「ヘルスGDP」という新指標を提唱。GDPから環境負荷等を差し引いた「グリーンGDP」の考え方を参考に、環境負荷等の代わりに医療費などを差し引いたもので、

ジョン・ベナードス新会長



これを高めるために不可欠な医療費削減面におけるサブプリメントの貢献度を調査する。

調査研究で先行する米国では、DSEA(米サブプリメント教育連合体)の委託事業が〇四年〇五年にかけて「ルーウェン研究」と呼ばれるデー

タを発表。オメガ3系脂質、脂肪酸などの人気分成分や、カルシウムとビタミンDの併用調査などを報告済みで、例えば葉酸ではサブプリメント代の差し引き後で、五年間に計約千六百億円の削減効果をはじめ出している。

そこで、調査を円滑に行うため米業界団体のNPA(自然製品協会、主に流通業者が加盟)やCRN(栄養評議会、主に原料メーカーが加盟)と連携を図る。日本国内では、統合医療分野でサブプリメントを普及させる狙いもあって、日本統合医

療学会(理事長・渥美和彦、会長にハーバライフ・イデオナル副社長と協力)のジョン・ベナードス氏を選出。橋本正史(ケミンジャパン)理事長と木一夫専務理事は留任と変更を決議。人事では新

一期
ク月
リ月
減収増益、経費削減
「シンチ」新タ
日本シャクリ(本社 売上高割戻高(ほとんど)がボーナス支払い)控除後の純売上高は、同三退などが響き、総売上高 三百万円。期末会員は累

〇九年三月期連結
〇九年三月期連結
〇九年三月期連結
〇九年三月期連結